

GRENE北極気候変動研究事業 募集内容一覧

公募ID	受入担当者		募集 人数
1-D	阿部 彩子	東京大学大気海洋研究所 准教授	1
3-E	小池 真	東京大学大学院理学系研究科 准教授	1
4-B	北海道大学、東京大学、海洋研究開発機構、国立極地研究所のいずれか		2
4-C	北海道大学、北見工業大学、海洋研究開発機構、国立極地研究所のいずれか		1
6-E	山口 篤	北海道大学大学院水産科学研究院 准教授	1
6-F	小畑 元	東京大学大気海洋研究所海洋化学部門海洋無機化学分野 准教授	1

研究課題名	北極気候再現性検証および北極気候変動・変化のメカニズム解析に基づく全球気候モデルの高度化・精緻化		
研究代表者	野沢 徹（国立環境研究所 室長）		
公募ID	研究目的・研究内容	募集人数	受入担当者
1-D	<p>北極気候システムのフィードバック解析を通して、北極域の温暖化増幅における大気、海洋、陸面、雪氷等のプロセスが果たす役割を定量化することを目的とする。そのために、特任研究員はさまざまな手法を援用して過去再現および将来予測実験のフィードバック解析を行うとともに、高緯度域におけるモデルバイアスの解消や、近年の海水急減や氷床融解の要因分析と温暖化増幅との関係の解明、不確実性定量化を行う。北極域に関わる要素モデルのバランスのとれた高度化および改良の方針策定につなげられるような研究を期待する。なお、特任研究員は気候モデルを用いた数値実験やその結果のデータ解析の経験を持つ者が望ましい。</p>	1名	<p>東京大学大気海洋研究所 阿部彩子・准教授 TEL: 04-7136-4405 E-mail: abeouchi@aori.u-tokyo.ac.jp</p>

研究課題名	北極温暖化のメカニズムと全球気候への影響:大気プロセスの包括的研究		
研究代表者	浮田 甚郎 (新潟大学理学部 教授)		
公募ID	研究目的・研究内容	募集人数	受入担当者
3-E	<p>北極域の大気環境変動・気候変動に対するエアロゾル・雲の役割を解明するために、数値モデルを使った研究を実施します。具体的にはWRFやWRF-chemなどの領域あるいはグローバルな数値モデルを使用し、エアロゾルの輸送過程、エアロゾル・雲の放射への影響、雲・降水過程などの総合的な評価を目指します。エアロゾル-雲-放射のカップリング、北極域での近年の海氷の減少に伴う下層雲の変化、mixed-phase雲の形成・維持機構、人工衛星や地上観測との比較や統合的な研究などに興味のある方を希望します。</p>	1名	<p>東京大学大学院理学系研究科 小池真准教授 TEL:03-5841-4595 E-mail: koike@eps.s.u-tokyo.ac.jp</p>

研究課題名	地球温暖化における北極圏の積雪・氷河・氷床の役割		
研究代表者	榎本 浩之（国立極地研究所 教授）		
公募ID	研究目的・研究内容	募集人数	受入担当者
4-B	<p>GRENE北極気候変動研究事業の一環として、「地球温暖化における北極圏の積雪・氷河・氷床の役割」の研究を実施している。この研究を推進するために以下のような業務に携わる研究員を募集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンランド氷床の過去、現在、および将来の変動を再現するために氷床流動モデルおよびそれに不可欠な周辺のモデルの開発改良を行う。 ・野外観測データ及び人工衛星データの解析によって、北極圏の氷床および氷河の変動を理解し、そのメカニズムを解明する。 <p>採用後は、グリーンランド氷床および北極圏の氷河変動に関わるモデル開発、変動量の定量化、変動メカニズムの理解に従事する。具体的には、氷床や氷河の変動に関わる緒過程、すなわち質量収支、地形変形、氷流動など氷床氷河変化の解釈やその再現のために不可欠な各過程とその相互作用に関するモデル開発、改良、観測、解析を行う。数値モデリング担当班と観測班との情報交換および協力を進めて、モデル研究と観測研究の連携を推進する役割が期待される。</p> <p>勤務地は海洋研究開発機構、東京大学、北海道大学、国立極地研究所のいずれかで、内外の研究分担者と連携して研究を進める。また一定期間、前述の機関に出張して研究に従事することもある。</p>	2名	<p>受入担当者：未定（研究分担者のいずれか） 研究内容に関する問い合わせ： 海洋研究開発機構 齋藤冬樹・研究員 TEL: 045-778-5569 E-mail: saitofuyuki@jamstec.go.jp</p>
4-C	<p>GRENE北極気候変動研究事業の一環として、「地球温暖化における北極圏の積雪・氷河・氷床の役割」の研究を実施しています。</p> <p>氷河・氷床を含む広域積雪域の衛星観測と気象データの解析を行う方を募集します。雪氷観測は様々な北極観測活動にかかわるため、衛星を使った広範な雪氷関連情報整備により北極研究プロジェクトの効果的な推進にも貢献していただきます。また、必要に応じて野外観測に参加してデータを収集したり、衛星データ利用のための基礎観測実験などにも参加できることも期待します。</p> <p>勤務地は北海道大学、北見工業大学、海洋研究開発機構、国立極地研究所のいずれかとしますが、雪氷研究分野の内外の研究者と連携して作業をするため、一定期間研究分担者の機関に出張して研究に従事することもあります。</p>	1名	<p>受入担当者：未定（研究代表者または分担者のいずれか） 研究内容に関する問い合わせ： 国立極地研究所 榎本浩之・教授 TEL: 042-512-0644 E-mail: enomoto.hiroyuki@nipr.ac.jp</p>

研究課題名	北極海環境変動研究：海水減少と海洋生態系の変化		
研究代表者	菊地 隆（海洋研究開発機構 チームリーダー）		
公募ID	研究目的・研究内容	募集人数	受入担当者
6-E	<p>北極域における温暖化増幅メカニズム解明や北極域における環境変動のメカニズム解明を目的とする。</p> <p>そのために、特任研究員は海洋生態系の低次生産を支える動・植物プランクトンに関する研究を中心に、動・植物プランクトンの試料採集、試料分析および動態解析を行う。</p> <p>北極域における環境変動が海洋生態系の物質循環に与える影響を評価する観点からの研究を期待する。特任研究員は動・植物プランクトン試料及びデータ解析の経験者が望ましい。</p>	1名	<p>北海道大学大学院水産科学研究院 山口 篤・准教授 TEL: 0138-40-5631 E-mail: a-yama@fish.hokudai.ac.jp</p>
6-F	<p>北極海大陸棚・陸棚斜面・海盆域における基礎生産を支える微量元素（主に鉄、必須栄養素）の化学形態とその起源について明らかにすることを目的とする。</p> <p>そのために、特任研究員は大陸棚堆積物起源と考えられる鉄と溶存有機物の関係に関する研究を中心に、鉄の化学形態、溶存有機物と鉄との錯体形成能、有機配位子濃度分析及びデータ解析を行う。特任研究員は微量元素及びその化学形態分析の経験者が望ましい。</p>	1名	<p>東京大学大気海洋研究所海洋化学部門海洋無機化学分野 小畑 元・准教授 TEL: 04-7136-6082 E-mail: obata@aori.u-tokyo.ac.jp</p>